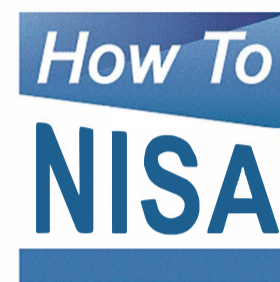


# 初心者、ロボアドで分散投資

## 対応の投信・ETFを活用



(注)投資一任型の場合

### ロボアドは大きく2種類

投資一任型	アドバイス型
<ul style="list-style-type: none"> <li>設定後は原則自動で取引</li> <li>リバランスにも自動対応</li> <li>手数料は比較的高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が購入手続き</li> <li>リバランスは利用者がする</li> <li>手数料が比較的安い。無料も</li> </ul>

### 新NISAに対応したロボアド商品の例

サービス名	おまかせNISA	SUSTEN	投信工房 (成長投資コース)
運営企業	ウェルスナビ	susten キャピタル・ マネジメント	松井証券
ロボアドの種類	投資一任型	投資一任型	アドバイス型
手数料 (年率)	0.693~0.733%	0.08~0.3%	0.15~0.16%
最低積立額	月1万円~	月1万円~	1回100円~
特徴	つみたて投資枠と成長投資枠を使い分ける	自社で運用する投信を活用。非課税枠を自動で節約	成長投資枠向けで運用コストの低い投信を提案

(注)手数料はおまかせNISAが自動積み立てのみの試算、おまかせNISAとSUSTENは一部割引がある、投信工房はロボアドが提案するモデル通りに購入する場合

1月から新たな少額投資非課税制度(NISA)が始まった。これを機に資産運用を始めようと考えている人は多いだろう。一方で投資初心者や多忙な人は商品選びや資産の管理などを負担に感じやすい。時間や手間を節約するならロボアドバイザー(ロボアド)を利用するのも一案だ。

千葉県に住む会社員の男性(32)は現在、ロボアドの活用を検討している。2023年から投資信託などの購入を始め、含み益は膨らんでいる。だが「適切な資産配分を維持するのは面倒」と感じているためだ。

ロボアドは手間を掛けずに分散投資ができるサービスだ。長期の資産運用では国内外の株式や債券、不動産、金(ゴールド)といった様々な資産に投資することが望ましいとされる。ロボアドは利用者の年齢やリスク許容度などの情報を基に、その人に合う資産の配分を提案。積み立て投資と組み合わせるなどし、着実な運用成績を目指す。

サービスは大きく「アドバイス型」と「投資一任型」に分かれる。アドバイス型はロボアドが資産配分を提案し、利用者はそれを基に自分で投信や上場投資信託(ETF)の購入をする。

投資一任型はロボアドの提案を踏まえて資産配分を決めると、その方針に沿って投信やETFなどを自動的に買い付ける。定期的に運用する資産の値動きを確認。「時価」が基準とする配分から大きく外れた場合には、値上がりした資産を売って値下がりした資産を買う「リバランス」もする。

最近NISAに対応するロボアドが増えている。新NISAには「つみたて投資枠」と「成長投資枠」の2つの投資枠があり、それぞれ運用できる投信やETFが決まっている。ロボアドは対応する商品を前提に提案や運用をする。投資枠の上限などNISA特有のルールにも対応する。

ウェルスナビの「おまかせNISA」は投資一任型で、リスク許容度の異なる5種類の資産配分パターンの中から提案をする。積み立て投資をする場合は通常、つみたて投資枠で株のETFを買い、成長投資枠では日本株や債券、不動産などを含む幅広い資産のETFを運用する。

定期的に資産の状況を確認し、必要に応じてリバランスをする。基本的には値上がりした資産の購入を減らすなど、買い付ける資産の内容を変更して調整するが、運用中の資産を売却もすることもある。投資額が多く成長投資枠が上限に達した場合には、課税口座とつみたて投資枠を使い分ける。

sustenキャピタル・マネジメントの「SUSTEN」も投資一任型で、同社が運用する投信を活用する。資産の配分を自動で調整するほか、投資枠を節約する機能もある。価格が下がった資産をいったん売却して買い直し、翌年に差額分の生涯投資枠を復活させる。年間の投資枠を使い切ったときは課税口座で投信を購入。翌年にその投信を売却すると同時にNISAの投資枠で買い直し、実質的にNISA口座に移すこともできる。

投資一任型は取引の手間がかからないのが強みだ。ただし自分で低コストの投信を運用するのに比べて手数料が膨らみやすい。おまかせNISAで積み立てをする場合の手料は運用する資産額に対し最大年率1・1%で、通常の積み立てでの試算値は年率0・693~0・733%。SUSTENは年率0・08~0・3%で、NISA口座以外の資産については、運用が好調な場合に別途「成功報酬」がかかることがある。

アドバイス型は自動運用の機能がない分、安く使えることが多い。松井証券の「投信工房」では新NISAで購入できる投信などを無料で提案する。利用者が助言通りの投信を購入した場合、投信を保有する間にかかる信託報酬は最大年0・16%という。

ロボアドの具体的な運用内容はサービスで異なり、運用成績にも開きがある。ファイナンシャルプランナーの高橋忠寛氏はロボアドについて「資産運用の第一歩で資金を入れるだけなのはメリット」と評価する。そのうえで長期で利用する場合には「手数料に見合う価値があるかの点検が必要」と話している。(安田龍也)